

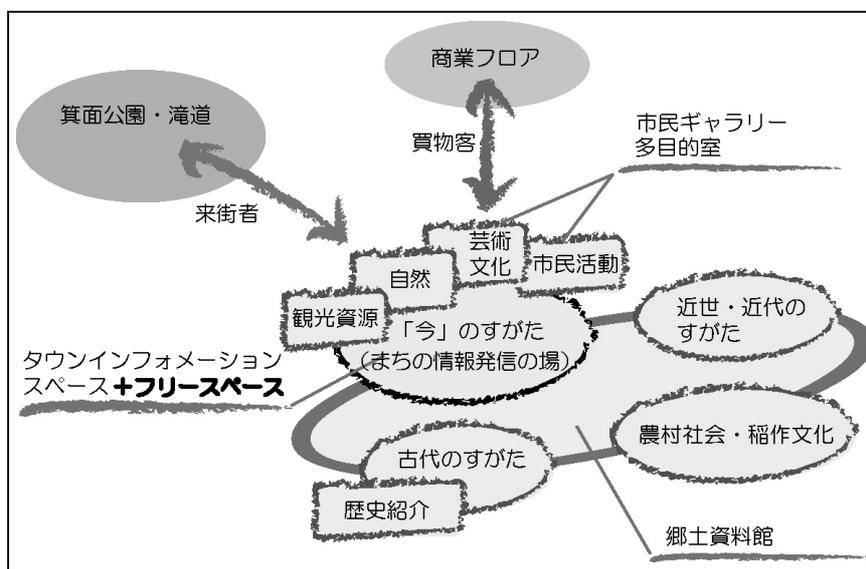
## (2) 公共施設再配置の方針

## 1) 地下1階

## 地下1階に配置する施設

郷土資料館展示室、収蔵庫、荷解室	フリースペース
郷土資料館体験学習室、準備室	多目的室、収蔵庫×3
タウンインフォメーションスペース、倉庫	市民ギャラリー、収蔵庫

## 地下1階のゾーニングのコンセプト



地下1階全体を、箕面のまちなりたちや市民の活動を含む「郷土のすがた」を集約した、「地域の顔」となるフロアとして機能集約を図る。

## 郷土資料館移設の意義

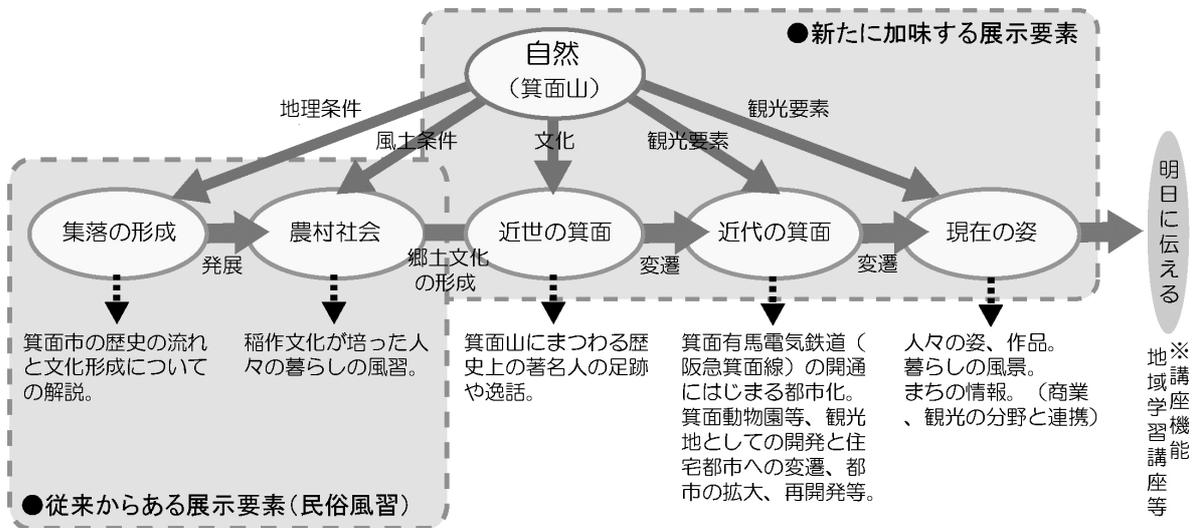
郷土資料館については、現在の施設が老朽化していることもあり、立地条件や総合的な公共施設の配置から判断し、サンプラザへ移設する方針で進める。「箕面の玄関口」に移設することで、より多くの市民・来街者の方が箕面の郷土文化に触れる機会を増やす効果がある。

移設に際して、併設するタウンインフォメーションスペースや市民ギャラリーと連携することにより、様々な市民の活動やイベントの開催、情報発信を通じて、広域や次世代に対して、より一層効果的に箕面の歴史文化を発信・継承することが可能になる。

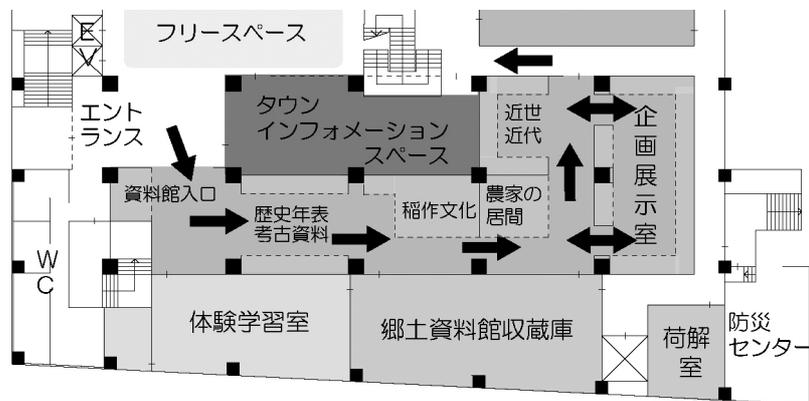
郷土資料館移設に際しての、展示内容の拡充のイメージ

現状の郷土資料館の常設展示は考古資料（集落の形成）や農機具・稲作文化資料（農村社会）等、民族風習にまつわるものが主であり、来街者や次世代に対する情報発信力をより充実させるには、現代に至る一連の郷土の歴史の流れをストーリー立てて説明するなどの、展示内容の拡充が効果的であると考えられる。

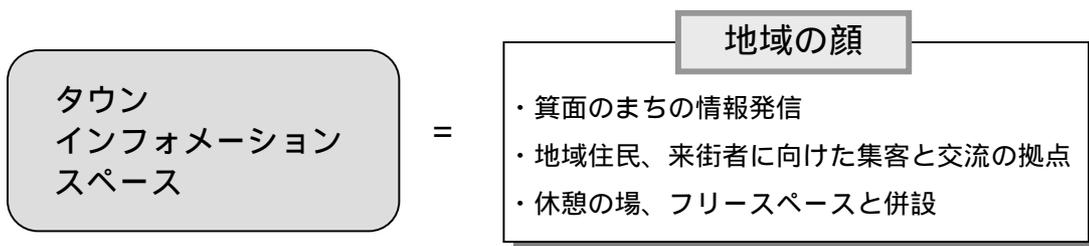
但し、下図に示す「新たに加味する展示要素」は、現在の郷土資料館の展示品には含まれない要素であり、新たな展示品、展示手法、企画展開が必要になる。これについては、観光等の分野を含めて、併設するタウンインフォメーションスペース等の施設との連携により、情報発信する内容の拡充の検討を行う。



- ・常設展示 ... 一連の郷土の歴史の流れがダイジェストで分かる順路、展示の構成を行う。体験型の展示装置や空間演出等、興味と理解を深める工夫を検討する。
- ・企画展示 ... テーマを設けて収蔵品を展示。実物資料の展示に合わせて、そこから学べる知識、情報の充実を図る。



## タウンインフォメーションスペースについて



箕面駅前（＝箕面観光の玄関口）という立地性を活かし、地域住民だけではなく来街者もターゲットにした集客と交流の拠点として、まちの情報発信機能「タウンインフォメーションスペース（仮称）」を設置する。

箕面の観光資源やまちなりたち、現在の姿を紹介するスペースとして整備することによって、「地域の顔」にふさわしい情報発信力及び、施設の集客性の向上を図る。

## 情報発信内容（イメージ）

- ・ 郷土資料館と連携した「まちなりたち」の紹介
- ・ 「箕面の四季」箕面山、箕面公園、滝道観光情報の紹介
- ・ 名産品、名所の紹介
- ・ 市民公募等による「まちのみどころ」の情報、風景写真や作品、著名人の紹介等
- ・ 観光ボランティアガイドの拠点



イメージ画

タウンインフォメーションスペースの運営やその内容については、既存の観光案内所との差別化を図る必要がある。本計画策定後、再配置に伴う改修工事の実施設計の段階において、各種関係者を交えた懇話会を開催し、そこでの協議検討を基にして、運営手法や内容を具体化する。

### フリースペース

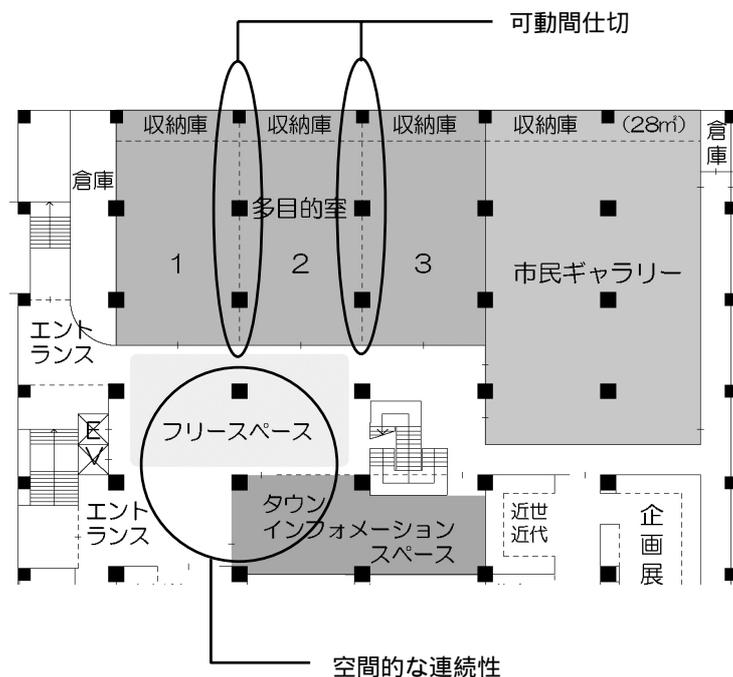
情報発信の場としてのタウンインフォメーションスペースと空間的に連続する配置で、自由な集い、情報交流、休憩の場としてのフリースペースを設置して、広域交流拠点としての機能を充実させる。

### 市民ギャラリー・多目的室

地下の大面積を活かして、市民ギャラリー・多目的室など、大勢の人が利用する施設を集約する。

多目的室については、可動間仕切により必要に応じて部屋の分割や一体的利用を可能にして、施設利用の効率性や稼働率の向上を図る。会議、文化活動の場としての機能に加え、郷土資料館の講座室や、市民展、イベント、フリーマーケット会場など、幅広い活用を検討する。

市民ギャラリーについては、展示会場として照明や遮音性等、設備面での性能の充実を図る。



フリースペース・多目的室・市民ギャラリーは、必要に応じて一体的な利用が可能な配置構成とする。

## 2) 3 階

## 3 階に配置する施設

子育て支援センター	多世代交流スペース
子ども活動支援拠点	屋外広場
地域活動拠点施設	

子育て支援、子ども活動支援、高齢者福祉等の施設を集約し、多世代交流を促進する。これらの施設は、進展する少子高齢化の中で、あらゆる世代にとって豊かな生活を支援する上で、今後より一層重要なものであり、その機能の充実と発展を図る。

## 子育て支援センター

西部地区の子育て支援センターの拠点として位置付け、現在のサンプラザ 1 号館 4 階にある「子育て支援センター分室」の機能・設備を拡充し、利便性を向上する。

## 対象

- ・乳幼児から就園前の子どもとその保護者

## 機能

- ・オープンスペースを使った親と子の遊びの場の提供
- ・市民企画やセンター企画のイベント開催
- ・子育て相談

## 子ども活動支援拠点

子ども活動における保護者や任意の参画団体（NPO 等）の事務所を設置する。

## 地域活動拠点施設

「多世代が集い、多目的に使える駅前の集客と交流の拠点」という、本計画の全体コンセプトの観点からも、多世代の市民の日常の交流の場として使える施設の配置を検討する。福祉活動拠点は、子どもとの多世代交流の観点から、これまで各小学校に設置してきているが、空き教室の不足などの問題から、全校区には配置されていない状況にある。そのような問題点もふまえ、3 階を子育て・子ども活動拠点としていることから、子どもとの多世代交流を図ることができる福祉活動・地域活動拠点施設を設置する。

## 3) 4 階

## 4 階に配置する施設

会議室 × 2	音楽スタジオ × 3
板の間、和室 × 2	倉庫

## 会議室

現状の 7 階の会議室機能を移設する。施設の改修に伴い、老朽化した設備・備品を改善し、利便性の向上を図る。

## 板の間、和室

和室の需要の高さに応え、今回の施設改修、再配置に伴い、現状の 1 室から、2 室に拡張する。

## 音楽スタジオ

趣味やサークルで使える専門室として、音楽活動の練習の場を設置し、サンプラザ 1 号館の地域活動施設としての用途の多様化を図る。同階の他の施設や上下階に、騒音や振動が伝わらないよう、遮音設備とする。

## 4) 5 階

## 5 階に配置する施設

郷土資料館事務室	まつり事務局
郷土資料館資料閲覧室・書庫	事務室 × 2
青少年指導センター・相談室	倉庫・印刷室

## 郷土資料館事務所機能

郷土資料館の事務所機能及び、郷土史料（文献等）保管、史料閲覧の機能を移設する。

## 行政事務所機能

従来通り、行政事務所機能を 5 階に集約する。

5) 6～7 階

6～7 階に配置する施設

民間貸与 × 2
----------

駅前立地の好条件を活かし、滞留性、目的性の強い施設の誘致等、民間活力を導入する。再配置計画のコンセプトに基づき、公募等の方法によって導入を図る。

6) 8 階

8 階に配置する施設

大会議室	控室・ロビー
------	--------

従来規模の大きな会合に対応できる貸床機能の提供に加え、簡易ステージの設置等により、講演会・文化活動の発表の場としての機能を向上する。今回の施設改修に伴い、老朽化した設備、備品を改善し、利便性の向上を図る。

7) 会議機能の再配置について

再配置後のレイアウトでは、現状の会議室のうち 4 階の 2 室及び、7 階の 2 室が他の機能に置き換わる。これについては、地下 1 階に設置する多目的室の可動間仕切による分割を活用し、会議機能に対応することで、みのおサンプラザ 1 号館に新たな機能を組み込みつつ、従来通りの会議室の規模・機能を確保する。

11 ページ「みのおサンプラザ 1 号館の施設稼働率」のグラフに示すように、多目的室は稼働率に余裕があり、特に平日午前中における稼働率が低いため、効率的な利用プログラムを検討することで、会議機能の補完を行い、施設稼働率を向上する。

(3) 動線の改善及びバリアフリー対応

公共機能の再配置に伴い、あらゆる人にとっての施設利便性を向上するため、共用部の動線の改修及びバリアフリー化を図る。以下に示す以外にも、改修工事にあたり施設全般についてのバリアフリー化を検討する。

地下1階

エレベーターの改修

1～8階を往復している既設のエレベーターを、地下1階までアクセス可能に改修することで、利便性の向上及びバリアフリー化を図る。かご室は2台共バリアフリー対応に改修する。

階段の新設

地階の公共施設と1～2階の商業施設の、双方の利用者が行き来できる動線を新たに確保する。

1階エントランスホールの改修

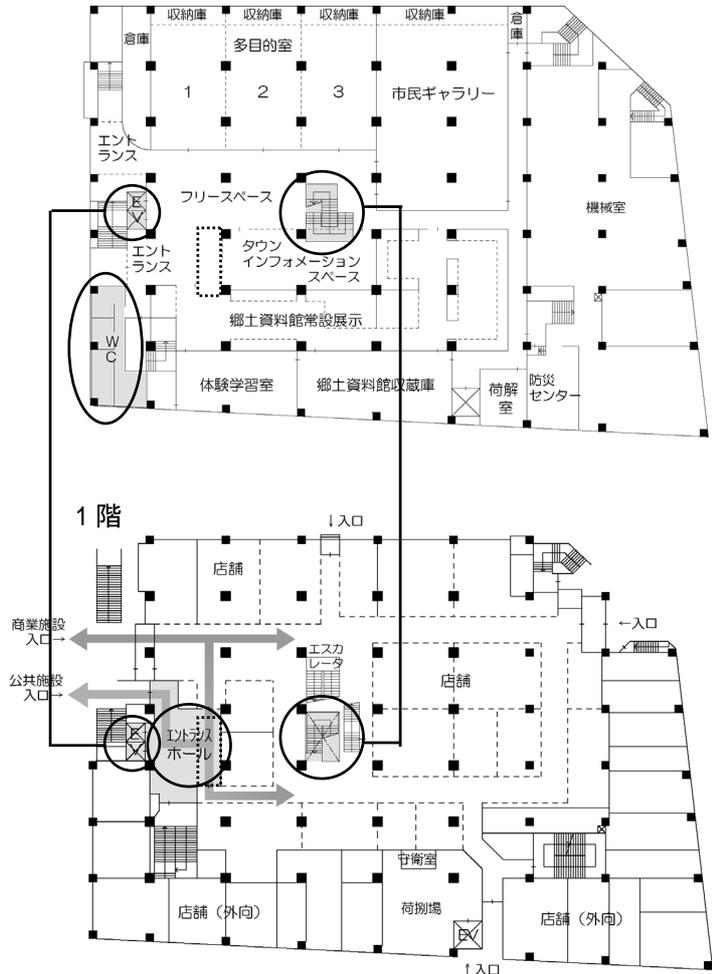
既存のエスカレーターを撤去してエレベーター前のホールを拡張し、新たに動線を設ける。ホールには当館の公共及び商業施設の情報案内コーナーを設ける。

スロープの設置

3階エレベーターホールにスロープを設置する。屋内と屋外を誰もが自由に行き来できる動線を確保する。

トイレのバリアフリー対応

多数の来客が滞在する施設機能を集約する地下1階について、トイレの規模を拡張し、多目的トイレを設置して、バリアフリー対応を図る。



3階

